



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ しばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

読書三到

「おうちの人とまた来てく
ださいね。(田鍋館長)」



細野小の2年生が市立図書館を見学。飾ってある額の文字について質問の時間に尋ねた児童がいました。説明では、右から「どくしょさんとう」と読み、本は「目でよく見

て、口で朗読し、心を集中すると理解が深まる」という意味だそうです。

2クラスが交替で館内を見て回り、一人が3冊借りました。「読書離れ」の声も聞きますが、目を輝かせて本を選んでいる子どもたちからは、そんな雰囲気は感じられません。大人になるにつれて、本よりもネットに接する時間が長くなるのでしょね。



【感想より】 ◆ 探していた本を教えてくださいありがとうございました。 ◆ 恐竜シリーズの中で読んでない本を借りられて良かったです。 ◆ 好きな本が見つかってうれしかったです。 ◆ バレーボールの本を探してくれてありがとうございました。

野尻小 国際交流の授業

4年生



「さくらさくら」をトーン
チャイムと合唱で披露



校歌も紹介しました。

野尻小では、国際交流支援の会の協力で、ネパールの学校との交流を続けています。7月には2つの小学校とオンラインで交流。ネパールについて調べたことを英語で発表し

り歌や合奏を披露したりしました。ネパールの子供もたちは、英語で上手に自己紹介をし、伝統芸能も披露してくれました。互いの子供もたちは珍しい映像に興味津々。時には歓声を上げて熱心に見入っていました。4年生は、今回の授業を通して外国の生活や文化に触れると同時に、日本やふるさと小林のこ

東方小 いもほり

2年生



2年生は体育館横の「2年生活科農園」で野菜を育てています。ナスやピーマン、ミニトマトの時期が終わり、今回、さつまいもを収穫しました。子どもたちは一生懸命穴を掘り、大きないもを見つける度に大喜び。小さな畑ですので短時間で作業は終わり。それでも一輪車で2台分の収穫がありました。後日、焼きいもにするそうです。

毎年、この時期はいもほりや稲刈りを見せていただいています。学校独自の工夫や地域との連携など、活動内容に特色があって興味深いです。

小林中 文化発表会(総合発表)



今年度は、弁論や総合の発表、合唱コンクールを、各学年1時間ほどにまとめて午前中に実施しました(午後は新体操と吹奏楽)。保護者も都合をつけやすかったのでしょうか、平日にもかかわらず多くの参観者が訪れていました。

「総合的な学習の時間」の発表より

【1年】 農業体験学習。受入れ先の農家での体験を「農家さんおすすめのマッチの持ち方」などのクイズも交えて発表しました。

【2年】 修学旅行で訪れた京都の人や風景、名物等を参考に、小林の活性化計画をまとめました。

【3年】 3年生が企画した「KOBAFEST」(10月31日)のPRを兼ね、小林の活性化を目指すプロジェクトを紹介。小林の魅力再発見・新しいキャラクター・イメージソングなどについて説明しました。

各学年共通していたのは、食や自然の豊かさ、人々の温かさなど「小林の魅力」を伝えていたことです。2・3年生は、学級とプロジェクトごとに短い劇を取り入れた分かりやすい説明でしたし、空き家対策や観光地の整備、新商品の開発など、いろいろな提案をしていました。

活性化のアイデアが多くの人目に留まり、少しでも形になるといいですね。

裏に続きます。

南小まつり

毎年実施している体験活動



しおりづくり



味噌づくり



盆景



洋裁(トートバッグ)

多くの事業所・団体・地域住民の協力を得て、全校児童が12種類の活動に分かれて参加。子どもたちは3時間ほどの間、それぞれの作品と真剣に向き合っていました。他の活動は…

- ◆ 昔の遊び(めんこ・けんだま・こままわし・おりがみ)
- ◆ エコバッグづくり(STOP!おんだんかるた)
- ◆ お茶体験(お茶の種類当て・おいしいいれ方)
- ◆ フラワーアレンジメント ◆ 和裁(コースターづくり)
- ◆ 竹細工(たけとんぼ) ◆ 陶芸 ◆ 表装(化粧箱)

南小まつりは、大人との交流を通してさまざまなことが学べる貴重な機会です。また、活動には国と県の事業(技能士が支援するものづくり)や市の事業(食育)もあり、技能や食への関心を高めたいという願いも込められています。

三松小 ものづくり体験教室

6年生



染色(トートバッグ)



板金(銅板レリーフ)



盆景

3つの活動に分けられました。染色は型紙を使って染料で色を付け、板金は文字を叩いて浮き上がらせて表札に、盆景では草木や石などで自然の風景を表現しました。

約2時間、ものづくりマイスター(技能士)の皆さんに教えてもらいながら、子どもたちは生き生きと作業していました。完成後は友だちと笑顔で「品評会」。全員が満足した表情をしていました。

【ものづくり体験】厚生労働省の事業。子どもたちに、ものづくりの魅力を伝えるのが目的です。県の職業能力開発協会がいろいろな職種の技能士を学校に派遣します。コロナ禍以降、申込みが増えているそうです。

建設業や製造業での働き手不足や若者離れが社会的な問題になっています。南小と三松小で、子どもたちの熱心な活動を見ながら、このような取組が問題解決のきっかけになってほしいと思いました。

小林小 兵児踊の練習

4年生



兵児とは、鹿児島地方で青年男子のこと。

天正年間(1573年～92年)、島津・伊東の争いで、島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために踊らせたのが起源と伝えられています。

また、兵児踊を通して日頃の士風の鍛錬に励んだとも言われています。

毎年、運動会で4年生が披露しています。指導は真方一区兵児踊保存会の皆さん。この日が2回目の練習で、模範演技を参考に繰り返し練習しました。徐々に、全員の動きが揃うようになり、保存会の鶴戸会長からも「ずいぶん上手になりました。運動会でもっと上手に踊れるよう、頑張ってください」と、励ましの言葉をいただきました。

永久津小 陽光の里訪問

3年生 7名
4年生 11名



福祉についての学習です。輪投げなどの手作りの遊び道具に加え、カルタやオセロ、折り紙などを準備して訪問。5つのグループに分かれ、デイサービスの利用者さんたちと、約1時間、楽しく交流しました。

【児童あいさつ】勉強のお手伝いをしてくれてありがとうございました。これからも元気で過ごしてください。

西小林小 グループホーム訪問

4年生



和(なごみ)福祉サービスのグループホームとデイサービスセンターを訪問。26人が3つの施設に分かれ、利用者さんたちと交流しました。名前や好きなことを尋ねたり、ボウリングや輪投げを一緒に楽しんだりして過ごしました。

数日後、4年生は認知症サポーター養成講座を受講。後日、再度の訪問を予定しています。

子どもたちにとって、親や先生以外の大人との交流は社会性を育てる貴重な機会です。高齢者も、さまざまな刺激で脳が活性化し、子どもたちから元気をもらいます。利用者さんたちの笑顔が心に残っています。